

貴族院 工場法案特別委員會議事速記録第一號

委員氏名

委員長

子爵三島彌太郎君

副委員長

桑田 熊藏君

委員

伯爵徳川 達孝君

前田 正名君

子爵入江 爲守君

淺田 德則君

男爵久保田 譲君

村田 保君

男爵山内 萬壽治君

男爵青山 元君

高木 豊三君

男爵沖 守固君

男爵中島 久万吉君

男爵楠本 正敏君

鎌田 榮吉君

明治四十四年三月八日(水曜日)午前十時二十四分開會

○委員長(子爵三島彌太郎君) 是ヨリ開會イタシマス、ドウゾ此法案御提出ノ理由ヲ大體御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(押川則吉君) 本案ヲ提出イタシマシタ理由ニ付キマシテハ、既ニ本會ニ於テ大臣ヨリ述ベラレマシタ通り、工業ノ秩序アール發達ヲ圖ルト云フ爲ニ、常ニ健康ニシテ且ツ元氣アル職工ヲ永ク一ツ工場ニ勤續セシムルヤウニシタイト云フノガ主眼ニナツテ居リマス、即チサウ云フコトハ職工ノ保護ト共ニ工業ノ健全ナル發達ヲ圖ルノデアルト云

フ考ヘテ、此法案ヲ制定イタシタ次第アリマス、申スマデモナイコトアリマスガ、凡ソ此生産上ノ施設ニ付キマシテハ、ドウシテモ土地、資本、労働ト、此三ツノ經濟上ノ要素ノ利用ノ宜シキヲ得ナケレバナラヌト云フコトハ分タルコトアリマシテ、即チ此法案ハ此三ノ經濟上ノ要素ノ中ノ勞働力ノ保全ト云フコトヲ目的トシテ居ルノデゴザイマス、而シテ此勞働力ノ保全ニ付イテ先づ茲ニ最モ急ナルモノヲ先キニ致シマシテ、即チ婦女幼少者ノ保護ト云フコトカラ始メルノガ適當デアルト云フ考ヘテアリマス、尤モ現在ノ各種ノ工場主ノ中ニモ、大工場ヲ經營シテ居リマス者ハ、職工ノ保護ノ點ニ付キマシテモ、

相當注意が行居イテ居リマスケレドモ、小工場ヲ經營シテ居ル人タチノ間ニハ全ク此職工ノ保護ノ點ニ付イテ之ニ關スル知識ノ無イト云フ者モアリマス、又假令相當ノ知識ハ有リマシテモ、營業ノ競爭上、眼前ノ利害ニ制セラレマシテ、保護ヲ要スル勞働者ニ過度ノ勞働ヲ爲サシムルト云フヤウナ弊害モ少ナクナインデアリマス、ソレガ爲ニ本案ハ先づ一番低イ度合ノ限界ヲ規定シタ積リデゴザイマス、ソレカラ此工場ノ設備ト云フコトハ直接、職工ガ仕事ヲ致ス上ニ付キマシテモ種々ノ關係ヲ有シテ居リマスガ、殊ニ此工場ノ衛生ト云フコトハ勿論、其他一般ノ工業ノ利害ニモ關係ヲ有シテ居ルコトガアリマス故ナクナインデゴザイマスカラ、是等ノ點ニ付イテモ大體ノ規定ヲ設ケタ次第デゴザイマス、本案ヲ提出イタシマシタ大體ノ趣意ハ唯今申シマシタヤウナ次第デゴザイマシテ、之コトハ當然ノコト考ヘマス、併ナガラ往々リレ等ノコト等閑ニ付シマスル工業主モ又付キマシテハ過日、大臣カラ申述ベラレタ通リ永イ間、殊ニ公ケ若シクハ私ノ種々ノ意

見ヲ叩キマシテ、審議研究ヲ重ネテ本案ヲ編成イタシタ次第デゴザイマスカラ、ドウゾ十分ニ御審議ヲ願シテ是非、本案ノ成立スルヤウニ希望イタシマス、尙ホ各條ニ亘ツテ委シ

イコトハ他ノ政府委員カラ説明イタスヤウニ致シタイ思ヒマス

○委員長(子爵三島彌太郎君) 大體ニ付キマシテ何カ御質問デモ御アリニナリマスレバ唯今御質問ヲ願ヒマス、大體ノ御質問ガゴザイマセヌケレバ、各條ニ付イテ御尋ネヲ願ヒマシテ、其條々ニ付イテ又御説明ヲ願フヤウニ致シタイ、……格別御質問モ無イヤウデゴザイマスカラ、ドウゾ各條ニ亘ツテ段々ニ條ヲ逐ウテ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(岡實君) ソレデハ各條ニ亘ツテ大體ノ御説明ヲ致シマス、此第一條ハ工場法ハドウ云フ工場ニ對シテ適用サル、カト云フ範圍ヲ示シタモノデゴザイマス、工場法適用ノ範圍ヲニツノ標準ニ依ッテ定ムルコトニ致シマシタ、其第一ノ標準ハフダン十五人以上ノ職工ヲ使シテ居ルモノ、第一ノ標準ハ使フ人數ハ十五人以下テアッテモ其事業ノ性質が危險デアッタリ、或ハ衛生上有害ノ虞アリト認ムルモノニハ本案ヲ適用スルト云フ考ヘテ居リマス、ソレデ十五人ト云フ標準ヲ決メマシタ理由ハ、家庭工業若ク家庭工業ニ準ズベキ種類ノ工業ニ對シテハ、未タ法律ノ制裁ヲ以テ取締マルマデノ必要ハ無イト認メタカラデアリマス、併ナガラ事業ノ性質が危險デアッタリ、或ハ衛生上有害ト認ムベキモノニ付イテハ、人數ヲ以テ必シモ適用、不適用ノ標準ト爲スコトガ出來スト認メマシタカラシテ、假令十五人以下ト雖モ亦之ヲ適用スルト云フ趣旨テゴザイマス、斯ク一ツノ標準ヲ立テマシテハゴザイマスルガ、工業ノ種類ハ千態萬狀ニ分レテ居リマシテ、甚シク職工ノ身體、生命、衛生等ニ對シテ危險ヲ與ヘルモノモアリ、又格別、サマデ甚シカラザルモノモ多々ゴザイマスルガ爲ニ、其情狀ノ寛大ナル取扱フシテ宜イモノニ對シテハ、必ズシモ法規ヲ以テ臨マナクシテモ、行政上ノ注意其他ニ依シテ改善ヲ期スルコトハ難キニアラズト認メマシテ、此一ツノ標準ヲ原則トハ採リマシタケレドモ、尙ホ此第二項ヲ設ケマシテ「本法ノ適用ヲ必要トセサル工場ハ勅令ヲ以テ之ヲ除外スルコトヲ得」ト云フコトヲ定メタノデゴザイマス、此如何ナル工場ヲ除外スルカト云フ調ヘニ付キマシテハ、本日御手許ニ差回シマシタ旨意デゴザイマスガ、例ヘバ小賣スル商品ヲ其商店内ニ於テ製造或ハ加工スルガ如キ工場、米屋ノ如キハ即チ其一例デゴザイマス、菓子屋ノ如キモ其一例デ、或ハ籠ヲ拵ヘタリ、龜ヲ拵ヘルトカ、建具ヲ拵ヘルトカ、其他鼻緒ヲ拵ヘルトカ、市中ニ小賣ヲ目的トシテ同時ニ製造業ヲ營シテ居ルト云フヤウナ場合ニ付イテハ、職工數ニ於テ二十人以下ナル場合ハ、勅令ノ規定ヲ以テ除外シテ差支アルマイト認メテ居リマス、即チ是等ノ業務ハ商賣ヲ兼ねタ仕事デアシテ、其操業ノ状態カラ申シマシテモ、他ノ事業ノ如ク激シク勞働ラシテ、其結果ソレニ從事シテ居ル職工が健康ヲ害スルト云フヤウナ程度モ、他ノ事業ニ比シテハ少ナイモノト認ムルコトガ出來マスカラシテ、是等ノ仕事ニ付イテハ本案ヲ適用シナイコトニ致ス積リデゴザイマス、ソレカラ第二ノ事業ノ性質危険ナルモノ或ハ衛生上有害ノ虞アルモノト雖モ、極小規模ニ家庭的ニヤシテ居ル工場ニ付イテハ、必シモ法ノ制裁ヲ與ヘルノ必要ハ無イカト存ジテ居リマス、ソレデ此御

手許へ回シマシタ調べノ中ノ乙ト云フ所ニハ其趣意ヲ掲ゲテゴザイマス、尤モ極小規模ナ家庭的工場ト申シマシテモ、如何ニモアブナイ仕事ヲシテ居ル、一ツ間違ヘバ其職工ノ衛生上危険ナルノミナラズ、又他ニ對シテモ、工場以外ニ對シテモ危険ヲ及ボスト云フヤウナ性質ノモノニ付イテハ、五人以下ノ家庭工業、若クハ家庭工業ニ準ズベキ工場ト雖モ、人數ニ拘ラズ本法ヲ適用スルノ必要ガアラウト存シテ居リマス、其工場ハ如何ナル工場ナリヤト申シマスルト、一カラ八マデニ列記シテゴザイマスル種類ノ工場ヲ指シテ居ルノデゴザイマス、是が第一條ニ對スル大體ノ趣旨デゴザイマス、第二條ハ工場ニ使用スベカラザル職工ノ最低年齢ヲ規定イタシタモノデゴザイマシテ、即チ十二歳以下ノ者ヲ原則トシテ工場ニ使用スベカラズト云フコトヲ定メタノデゴザイマス、併ナガラ現在既ニ十二歳以下ノ者ヲ使ツテ居ル場合ニ於テ、其年齢ガ十歳以上デアルトキニハ引續イテシテ、但書ニ本法施行ノ際、十歳以上ノ者ヲ引續キ就業セシムル場合ハ差支ナイトマシテハシナ、詰リ工業家ノ現状ヲ維持セシメテ、其職工ガ十歳以上デゴザイマスカラ、二年經テハ十二歳ト云フ法定年齢ニ達スルノデアリマスカラ、ソレヲ待ツト云フ趣意ニ致シ云フ趣意ヲ但書ニ規定イタシタノデゴザリマス、斯ク第一項ニ原則ヲ定メマシテゴザリマスルガ、併ナガラ其業務ノ種類ニ依ツテハ極危險若クハ衛生上有害ノモノガアリ、又極メテ輕易ニアツテ左マテ健康上顧慮スル必要ノナニ業務ハ多々アルノデゴザリマス、如何ナル業務カト申シマスルト、或ハ仕上ケノ際ニ於テ既ニ出來テ來テ居ル品物ヲ數ヘルトカ、其品物ヲ函ニ入レルトカ、或ハ函ニ入レタモノニ「レッテル」ヲ貼ルトカ、或ハ紙デソレヲ包ムトカ、包ンダモノニ糊付ケラスルカ云フヤウナ仕事ハ、ソレヽ工場ノ中ニハアルモノデゴザリマシテ、ソレ等ノ仕事ニ必シモ青年職工ヲ使用スルコトハ要ラヌノデアツテ年少者ト雖モ出來ル仕事アル、又年少者ガソレヲシテ必シモ身體上ニ害ヲ及ボスモノト認ムルコトが出來ヌノデゴザリマスカラ、サウ云フ種類ノ仕事ナラバ年齢ハ十二歳以下ト雖モ十歳以上デアル限りハ行政官廳ノ許シヲ得テサウ云フ業務ニ使ハシテ宜イト云フ趣意ヨリイタシマシテ、此第二條ニ第一項ヲ設ケマシテ更ニ第一項ノ原則ノ例外ヲ設ケルト云フコトニシタノアリマス、第三條カラ第六條ニ至リマスルマテガ職工ノ就業時間ニ關係シタ規定デゴザリマス、其中ニ第三條ニ於キマシテハ女子供ガ一日ニ付イテハ十二時間ヲ超エテ勤イテハナラスト云フ原則ヲ定メタノデゴザリマス、現在ノ所アハ多クノ工場アハ十二時間以上勤ガス場合ハサウ澤山ハナイノデゴザイマス、大概十時間ヲ以テ最長時間ト致シテ居ルノデゴザリマスガ、併ナガラ中ニハ隨分長ク職工ヲ使ヒ、十六七時間モ勤カシテ尙ホ足ラズトルスル業體モ少ナクナニオテ、又平生ハ十二時間シカ勤カサナイデモ忙ガシクナシテ來ルト十四時間、十五時間、時トシテハ十六時間十七時間ニ瓦ツテ無理ヲシテ職工ヲ勤カスト云フコトガゴザリマス爲ニ此法律ハ十二時間ヲ以テ最長ノ就業時間ト云フコトヲ規定イタシタノデゴザイマス、然ルニ先キホド申上ケマシタ如ク、業務ノ種類ハ千差万別デゴザリマシテ、甲ノ業務ニ從事スル場合ニハ五六時間勤イテレダケ勤イテモマダ左レテ疲勞ヲ感シナイト云フ場合モ多クゴザリマスル爲ニ、其業體ノ如何ニ依ツテハ多少此十二時間ト云フ時間ヲ延バスコトヲ得セシメテ差支アルマイ、況

ノ現在ノ狀況カラ申シマスルト、我國ノ重要產物タル所ノ製絲業ノ如キ、又羽二重業居ラナイト云フヤウナ因襲ガゴザリマスル爲ニ、是等ノ重要物產ヲ製造シテ居ル業體ヲ俄ニ制限スルコトハ餘ホド考ヘナケレバナラヌノアル爲ニ第二項ニ於キマシテ、ソレ等ノ業務ニハ更ニ二時間以内延長シテ十四時間ニ至ルコトが出來ル、併ナガラ大凡人間ノ勢力ニハ限リアルモノニアッテ、十四時間働クコトハ既ニ甚シキ例外デアルト云フコトハエ原则ノ十二時間ニ復歸スルト云フ精神ヨリイタシテ之期限ヲ附スルコトニ致シマシタ、何故ニ此期限ヲ十五年ト定メタカト云フコトニ付イテハ後ニ至ラテ更ニ御説明ヲ申何人モ認ムルコトが出來ルノゴザリマスルカラ、是ニハ一定ノ期限ヲ附シテ期限經過後上ゲマス、ソレカラ此第四條デゴザリマスルガ、此第四條ハ女子供ノ徹夜ノ操業ヲ禁止シタノデゴザリマス、總テ晚ノ十時カラ朝ノ四時マデ、此間ハ婦女幼少者が工業ニ從事シテハナラヌト云フ大原則ヲ第四條デ定メタノデゴザリマス、徹夜業即チ晝夜ヲ顛倒シテ働くコトが健康ヲ害スルコトハ申スマデモナイコトデゴザリマシテ、殊ニ發育スル盛リノ者、及身體ガ比較的抵抗力少ナキ女子ト云フ者ニ對シテハ殊ニ徹夜業ノ與フル影響ガ大キノデゴザリマス、此事ハ御手許ニ差上ゲテ置キマシタ工場調査ト云フ印刷物ガゴザリマスルガ、其本ノ中ニ一週間徹夜ヲサセバ平均シテドレダケ職工ガ弱ルカ、即チ體量がドレダケ減シテ居ルカト云フコトヲ統計的ニ示シタモノガゴザリマスルカラソニ就イテ御覽ヲ願ヒマス、サウ云フ理由ヲ以テ女子及幼者ノ徹夜業禁止ヲ第四條ニ掲ゲタノデゴザイマス、併ナガラ一切ノ業務ニ對シテ徹夜業ヲ禁止スルト云フコトニ至リマスルト、之ガ爲ニ少ナカラザル影響ヲ被ムル場合ガゴザリマスル爲ニ第五條及第六條ニ於キマシテハ第四條ニ對スル例外ヲ掲ゲタノデゴザリマス、第五條ニ掲ゲマシタ例外ハ工業ノ本質力ラシテ、夜仕事ヲシナケレバナラヌ特別ノ理由ヲ有シテ居ル仕事ヲ、一種ノ徹夜業ヲ爲スベキ、謂ハ、特權アル工業ト認メマシテ、「一」、「二」、「三」ト云フ所ニ書キ下シテゴザイマスル通り、是等ノ工業ニ對シテハ第四條ニ對スル例外ヲ爲シテ宜シトイト云フコトヲ認メタノデゴザイマス、此「一」、「二」、「三」ト書別ケアゴザイマスル事業ノ種類ハ如何ナルモノカト申シマスルコトハ、御手許ヘ今朝ホド差回シマシタ調查書ノ中デ、第五條各號ノ事業ノ種類ト云フコトニシテ、菊蒻版デ差上ゲタモノガゴザイマス、此「一」時ニ作業ヲメタノデゴザイマス、此コトヲ必要トスル特種ノ事由アル業務ト申シマスルト、即チ魚トカ或ハ果物ノ如キモノヲ原料ニ使フテ、ソレニ加工スル仕事デゴザイマス、即チ魚が澤山這入シテ來タ、若クハ果物ヲ採ルベキ時期ニ達シタキニハ、其原料ノ變廢ヲ防ぐ爲ニ、一時ニ仕事ヲ完了シテ仕舞ハナケレバナラヌ必要ガゴザイマス、ソレヲ配達スルマデノ用意ラシテ、朝ソレヲ出スト云フコト別ノ事由ノアル業務ト云フコトデゴザリマシテ、例ヘバ新聞印刷業、即チ夜、印刷ラシテ、朝ソレヲ配付スルノデゴザイマスカラシテ、是モ夜仕事ヲシナクテハナラス、麵麺燒工場モ亦夜ノ中ニ麵麺ヲ燒キ、ソレヲ配達スルマデノ用意ラシテ、朝ソレヲ出スト云フコトニナルノデアリマスカラ、夜間ニ仕事ヲ完了シテ仕舞ハナケレバナラヌ、又牛乳殺菌場ノ即チ重モニ寵ヲ使シテ仕事ヲスル業務デゴザイマス、寵ノ中ニ一旦原料ヲ溶解セシムルト

キニハ、晝夜火ヲ絶ヤシテハ其中ニ固マリ著イテ仕舞シテ、籠ガ用ニ立タナクナルト云フ結果ニ陥リ、社會經済上ニモ亦尠ナカラザル影響ヲ及ボスモノト言ハナケレバナラヌトデゴザイマス、故ニ夜業禁止ノ必要ハ誠ニ重大ナルモノガコザイマスルガ、又同時ニ夜業禁止ノ影響モ亦最モ大ナルチ硝子業ノ如キ、是等ノ仕事ハ他ノ仕事トハ異ダ、何レモ夜ト云フモノニ密接ナ關係ガアズ、夜働クト云フコトハ仕事ノ成立スル要件ノ一ツナッテ居ルモノト言フベキモノデゴザイマスカラ、其他ノ夜働カナクテモ必シモ技術上差支ノ生ジナイト云フ仕事トハ取扱ヲ致シタノデゴザテ、此第五條ノ但書ニ於キマシテハ、十四歳未滿ノ者及二十歳未滿ノ女子ヲシテ自ラ異ニシナケレバナラヌト認メマシテ、是等ノ事業ニハ寛大ナル取扱ヲ致シタノデゴザイマス、此第五條ノ但書ニ於キマシテハ、十四歳未滿ノ者及二十歳未滿ノ女子ヲシテ徹夜業ニ從事セシムルコトガ出來ナイト云フコトヲ但書ニ書イタノデゴザイマス、即チ幼者ノ中テモ十四歳未滿ノ者及二十歳未滿ノ女子、是等ハ十五歳未滿ノ者及女子ヨリモ一層身體ノ薄弱ナルモノト認メマシテ、本法施行後十五箇年マテハ一般ニ幼者及女子ハ禁制シナイケレドモ、十五箇年後ニナシタナラバ幼者ノ中テモ十四歳未滿ノ者ハ禁ゼ、又女子ノ中テモ二十歳未滿ノ者ハ禁ズル、十五箇年經チマスルト、前ニ全然婦女幼少者ヲ許シテアツノガ、今度ハ制限的ニ婦女幼少者ヲ許スト云フコトニナリマスノデ、即チ取締ガ茲ニ一ツノ階段ヲ超エテ嚴重ニナルノデゴザイマス、何故ニ十五箇年ト規定シタカト云フコトハ、次ノ條ニ這入シテ御説明ヲ致シマス、以上申上ケマシタ所ハ業務上ノ性質上已ムヲ得ザルモノト申シマスルハ、此重モナル業務ハ即チ紡績組ト夜組トヲ區別シテ、即チ晝夜交替ノ組ヲ排ヘテ仕事ヲセア居ル場合ニハ、十五箇年間ダケハ第四條ノ規定ヲ適用ヲ猶豫スルト云フコトヲ認メタノデゴザイマス、職工ヲ二組以上ニ分シテ交替ニ就業セシムルモノト申シマスルハ、此重モナル業務ハ即チ紡績業ヲゴザイマシテ、昔カラ今日ニ至ルマテ晝夜組トヲ區別シテ、二十四時間打通シテ機械ヲ運轉サセア居ルコトハ御承知ノ通リデゴザイマス、此事業ハ第五條ノ「一」、「二」、「三」掲タル特種ノ事由アル業務ト認ムルコトハ出來ヌノデゴザイマシテ、即チ夜機械ノ運轉ヲ中止シタ所ガ、左マテ技術上、損害ヲ生ズキモノデハ無イノデゴザイマス、ソレガ夜業ヲ現在ヤツテ居ルノデゴザイマスカラ、若シ此第六條ノ規定ヲ置カケレバ我が紡績業ノ如キ、本法施行ノ日ヨリ第四條ノ適用ヲ受クルコトニナルノデゴザイマス、紡績業ニ此夜業ヲ禁止イタシマスルコトノ影響ハ誠ニ少ナカラヌモノガアルノデゴザイマシテ、御承知ノ如ク我國ノ紡績業ハ今日デハ約一億ニ近キ資本モ之ニ投シテ居リマスルシ、紡績業ノ如キ、本法施行ノ日ヨリ第四條ノ適用ヲ受クルコトニナルノデゴザイマス、紡績業ヲ禁シテ、内地ノ需要ニ供スル外、尙ホ海外ニモ之ヲ輸出シテ三四千万ノ高ニ達シテ居ルコトハ御承知ノ通リデゴザリメト云フ結果ヲ生ジマス爲ニ、外ニ對シテ輸出スルコトガ出來マセヌノミナラズ内地ノ需要ニスラ尙ホ不足ヲ生ズルト云フヤウナ影響ヲ及ボスノデゴザイマス、斯ノ如ク重大ナル影響ヲ其工業ノ上ニ及ボスノミナラズ、又正貨ヲ我國ニ吸收スルト云フ輸出貿易ノ點カラマス、先づ我國デ工業ノ重モナルモノト言ヘバ第一ニ來ルノハ紡績業デアラウト存ジマス、其紡績事業ニ對シテ夜間ノ操業ヲ禁ズルキハ產額ノ約四分ハドシテモ減ラケレバ、外ナラヌト云フコトニナリマス、即チ從來產出シテ居タ高ノ六ガケシカ、產出スルコトガ出來ヌト云フ結果ヲ生ジマス爲ニ、外ニ對シテ輸出スルコトガ出來マセヌノミナラズ内地ノ需要ニスラ専ホ不足ヲ生ズルト云フヤウナ影響ヲ及ボスノデゴザイマス、斯ノ如ク重大ナル影響ヲ其工業ノ上ニ及ボスノミナラズ、又正貨ヲ我國ニ吸收スルト云フ輸出貿易ノ點カラ申シマシテモ、俄ニ其制限ヲ實行スルコトニ躊躇スルノデゴザイマス、其コトニ付シテ、本法施行後十五箇年間ノ猶豫ヲ絶對的ニ認メルコトニシテ

一般需要者ガ現在ヨリモ高ク綿布綿絲ヲ買ハナケレバナラヌト云フ結果ニ陥リ、社會經濟上ニモ亦尠ナカラザル影響ヲ及ボスモノト言ハナケレバナラヌトデゴザイマス、故ニ夜業禁止ノ必要ハ誠ニ重大ナルモノガコザイマスルガ、又同時ニ夜業禁止ノ影響モ亦最モ大ナルモノガアルノデゴザイマス、ソレデ夜業禁止ノ必要ト夜業禁止ノ結果、此一ツノモノヲ綜合シテ考ヘテ見レバ、法律施行ト同時ニ直チニ夜業ヲ禁止スルト云フコトハ、ドウシテモ是ハ避ケナケレバナラヌコト、存シマス、即チ一定ノ猶豫期間ヲ與ヘマシテ、其猶豫期間中ニ云フコトガ茲ニ研究スベキ問題トシテ起シテ來ルノデゴザイマスガ、最初此點ニ付イテ昨年諸方ノ意見ヲ徵シマシタ際ニ、中央衛生會ハ先づ五箇年ヲ期間トシアツタ差支アルヲ決メナケレバナラヌコトト考ヘルノデゴザイマス、ソレデ農商務省ニ於キマシテハ其點ニ付イテ十分ニ調査ヲ遂ゲ、紡績業ノ從來ノ沿革及今日ノ現狀、是等ヲ調査シテ既ニ御手許ニ出シテアル皆テゴザイマスガ、慎重ナル調査ヲ遂ゲマシタル結果、先ア十年後ニ夜業ヲマイト云フ意見ヲ答申イタシタノデゴザイマス、ソレデ農商務省ニ提出イタシマシタ本案ノ中ニハ云フコトが茲ニ研究スベキ問題トシテ起シテ來ルノデゴザイマスガ、最初此點ニ付イテ昨年猶豫期間ヲ規定シテアツノデゴザイマス、然ルニ此十年ノ期間ハ準備期間トシテハ、マダ不足ナリ、尙ホ此點付イテハ政府ノ再考ヲ求メルト云フコトデアリ、紡績關係者其他ヨリモ續々意見ノ提出ガゴザイマシタ、又衆議院ニ於テモ此點ニ付イテハ餘ホド慎重ナル調査ヲシナケレバナラヌコト云フ見解デアツノデゴザイマス、昨年本案ハ一旦衆議院ニ付イテハ一層深ク調査ヲ遂ゲマシテ、昨年十一月、諸方ノ團體ヘ諮詢イタシマシタ案ノ中ニハノ期間ヲ如何ニ定メルカ、又夜業禁止ハ自ラ其順序ヲ規定シナケレバナラヌカ、ドウカ、斯ウ云フヤウナ點ガ即チ重モナル調査事項デアツノデゴザイマス、ソレデ撤回後、更ニ此點ニ付イテハ一層深ク調査ヲ遂ゲマシテ、昨年十一月、諸方ノ團體ヘ諮詢イタシマシタ案ノ中ニハノ期間ヲ區別シテ、一定ノ年限ノ間ハ夜間ノ仕事ヲ一割減ズル、然ラズンバ職工ノ一割ヲ減ズル、言葉ヲ換ヘテ申シマスルト、夜間働く所ノ職工ガ千人アリトシタナラバ、其中ノ二百人ハ一定年限間減ズル、其次ノ時期ニ入シタ際ニハ今度ハ夜間ノ仕事ノ四割ヲ減ラスカ、或ハ從事スル職工ノ四割ヲ減シロト云フ按排ニ夜間ノ作業ヲ全廢ルニ至ルマテノ間ノ順序階級ヲ法律中ニ定メ、其階級ヲ漸次踏登ルコト依シテ結局夜業全廢マテニ立チ至ラセヤウトスル案ヲ立て、諸問ヲシタノデゴザイマス、ソレニ對シテ諸方カラ答申ノ結果、殊ニ此紡績業ノ團體タル聯合會ノ審議ノ結果、答申イタシマシタ所ニ依リマスルト、法律中ニメタル方ガ宜カラウダヤナカ、右述べマスガ如キ沿革上ノ理由ヨリ致シマシテ、本案ニハ本法施行後十五箇年間ノ猶豫ヲ絶對的ニ認メルコトニシテ今回提出イタシマシタ

次第デゴザイマス、即チ十五箇年後ニハ夜業禁止が實行セラレルト云フコトニナリマスルカラ、此時期ヲ以テ其他ノ條文中甚ダ寛大ニ失スルト認ムル如キ事柄ヲ成ルベク原則ニ引戻スコトヲシャウチャナイカト云フコトヲ此生産調査會ノ委員中カラ發議ガアリマシテ、是亦認ムル所トナシテ、前ニ申上ゲマシタ第二條ニ十五箇年トアルノモ第五條ニ十五箇年トアルノモ均シク第六條ヨリ導カレ出テタ規定ト御覽クダサレタインデゴザイマス、ソレカラ第七條ノ規定ハ休日及休憩ニ關スル規定デゴザイマス、即チ一月ノ間ニ少ナクトモ二日間ダケハ休日ヲ與ヘテヤラナクテハナラヌ、又十時間以上勤カセントキニハ一時間、六時間乃至十時間ノ場合ニハ三十分、ソレダケノ休憩時間ヲ職工ニ與ヘテヤラナケレバナラスト云フコトヲ第七條ニ規定イタシマシテゴザイマス、其コトハ甚ダ當然ニ過ギタルガ如キ感ガアッテ、斯カルコトハ現在既ニヤツテ居ルデナインカト云フヤウナ御疑ヒモアラウカト存ジマスルガ、此休日ヲ與ヘルト云フコトニ付イテハ、是亦當業者トシテハ餘ホド苦痛ヲ感ズルコトデゴザイマス、一箇月ニ二日ノ休日ヲ與ヘルコトサヘモ少ナカラヌ異議ガアルノデゴザイマス、又休憩ノ如キモ同様デゴザイマシテ、今日ノ工場ノ或ルモノ、即チ製絲業、織物業ノ如キニ至リマスルト、殆ド朝カラ晩マデ、ノベシニ仕事ヲヤル、食事ノ如キハ握飯ヲ啣ミツ、機臺ノ上デ食事ヲシテ居ル、朝、機ヘ座レバ晩マデ其機ヲ去ルコトガナイト云フノが當業ノ常態ニナツテ居ルノアリマス、又製絲業ノ如キモ一月中休日ト云フモノが決シテ定期的ニハ決マツテ居ラヌノデゴザイマシテ、職工自ラ或ハ腹が痛イ、或ハ頭が痛イト云フ爲ニ、任意ニ休ム外ハ工場トシテハ休マヌコトニナツテ居ル工場モ尠ナクナインノデゴザイマス、故ニ是等ノ規定モ亦之ヲ最低限度トシテ之ヲ强行スル必要ヲ認メタノデゴザイマス、ソレカラ第八條ニ於キマシテハ天災事變ニ際工場法ノ制限ヲ訂正スルト云フ規定デゴザイマス、是ハ格別説明ヲ要シナイコト、存シマス、ソレカラ其中ノ第二項デゴザイマスルガ、避クベカラザル事由ニ因ツテ臨時必要ナル場合ニ於テハ就業時間ヲ延長スルコトが出來ルト云フコトが書イテアルノデゴザイマス、是ハ例ヘベ早魃ガアツテ電氣力ノ原動力が全ク絶エテ仕舞ツタト云フヤウナ場合ニ、ドウシシモ注文ガ追付リヤ否ヤト云フコトヲ審査イタシマシテ、工場法ノ就業時間ノ制限其他ヲ解除セシムル來テ、ソニニ應シナケレバ莫大ノ損害ヲスルト云フヤウナコトガアル、其他工場主が任意ニ惹起シタ事柄ナクシテ避クベカラザル原因ガアツテ、其原因ヨリ已ム得ズ臨時ニ餘計仕事ヲシナケレバナラヌ必要ガ起シテ來タトキニ、行政官廳ハ其避クベカラザル理由アリヤ否ヤト云フコトヲ審査イタシマシテ、工場法ノ就業時間ノ制限其他ヲ解除セシムルヲ書イタノデアリマス、其趣意ハ避クベカラザル事由ノ有ル無シニ拘ラズ臨時仕事ヲヤツテ仕舞ハナクテハナラヌ、又俄ニ注文ガ這入ツカガ爲ニ十二時間ノ制限ノ下デハ逆モ其仕事ヲヤリ切ツテ仕舞フコトが出来ナイ、一時的必要ノ生ジテ來タトキニハ一月ヅ、通シテ政官廳ニ届出テ一月ニ付キ七日ヲ超エサル間ハ二時間以上延長シテ宜シトイト云フコトヲ書イタノデアリマス、其趣意ハ避クベカラザル事由ノ有ル無シニ拘ラズ臨時仕事ヲヤツテ許可ヲ要セヌ、タゞ屆濟ミダケデ宜シ、二時間以内延バシテ宜イト云フコトニシタノデアリマス、是ハイゾノ工場ニ在ゲモ業務ニ緩急ガゴザイマスカラ、業務ノ緩急ニ應シテ就業時間ヲ延長スルコトハ許サヌガ、併ナガラ七日ヲ超エナイ位ノ程度ニ於テハ今度ハ許可ヲ要セヌ、タゞ届濟ミダケデ宜シ、二時間以内延バシテ宜イト云フコトニシタノデハ修正條文デゴザイマスガ、是ハ即チ衆議院ノ議決ニ係ルノデゴザイマス、「季節ニ依リ繁

忙ナル事業ニ付テハ「云々トゴザイマス、其趣意ハ年中同一ノ程度ニ仕事ヲスルノデナクシテ、或ル時期ニ限シテ非常ニ忙シイ仕事ガゴザイマス、其重モナルモノハ製絲業ノ如キモノデゴザイマスルガ、其最モ繁忙ナル期間ダケハ、一年ニ付イテ百二十日ノ割合ヲ超エザル限りト申シマスルト、半年ニ付イテハ六十日、又三箇月ニ付イテハ三十日ト云フ割合デゴザイマス、此一年ニ付イテ百二十日ノ割合ヲ超エザル限り就業時間ヲ一時間以内延長シテ差支ガナリ、併ナガラ若シ其延長ヲヤッタ場合ニ前ニ書イテアル臨時必要アルガ爲ニ延バスト云フコトハ許サヌ、此場合ニ於テハ認可ヲ受ケタル期間内ハ前項ノ規定ヲ適用セズ、即チ一年ニ付イテ百二十日間ダケハ繼續シテ一時間延シシ得ル、斯ウ云フ認可ヲ得タ際ニハ前項ニアル「臨時必要アル場合」云々ト云フコトノ適用ハ全ク無ノニアリマス、詰リ修正案ハ臨時必要ノ場合ヲ平タクシタヤウナ規定デゴザイマシテ、工業主ハイヅレニ依ルコトモ出來ルノニアリマス、併ナガラ一方ヲ適用サル、トキニ他ノ方ノ適用ハ受ケナイト云フコトニ致シタノニアリマス、共ニ事業ノ緩急ニ應シテ工業ノ伸縮ヲ爲スコトヲ得セシメル規定デゴザイマス、九條十條ハ格別説明ヲ要シナイコト、存シマスルガ、女トカ或ハ幼者ヲシテ特ニ危險ナ仕事、或ハ衛生上有害ナル仕事ヲサシテハナラナイ、此衛生上有害ナル仕事ノ種類如何ト云フコトハ第十一條ニ依ツテ大臣が其範圍ヲ明カニ決メルト云フコトガ書イテゴザリマス、ソレカラ第十二條モ格別説明ヲ要シナイト考ヘマスガ、病人トカ或ハ産婦ナドガ無理ニ仕事ヲスルト云フコトハ其者ノ身體ヲ害スルノミナラズ、又病人が傳染性疾患者デアルトキハ、其製品ヲ媒介トシテ他ニ病毒ヲ傳播スル虞モアリマスカラ、サウ云フ者ノ工業ニ從事スルコトヲ制限禁止スルコトハ當然考ヘマス、ソレカラ第十三條デゴザリマスガ、此規定ハ工場ノ設備ヲ漸次ニ改善セムガ爲ニ、行政上ノ命令ノ定ムル所ニ依ツテ、豫防又ハ除害ノタメ必要ナル事項ヲ工場ニ命シテ、若シ緊急已ムヲ得ズト認メタルトキハ、工場ノ全部若クハ一部ノ使用ヲ停止スルト云フコトが書イテアルノデゴザイマス、是ハ本會デモ説明ヲ致シテアリマスル通り、各府縣デヤクテ居ルノガ、マダ十分デアリマセヌ爲ニ、本法施行後ハ各府縣ノヤリ方ヲ統一シ、且ツ専門官吏ヲ置イテ漸進的ニ工場ノ設備ノ完成ヲ圖シテ行クト云フ所カラ出タ規定デアリマス、第十四條ハ説明ヲ要セザルモノト考ヘマス、第十五條ハ是亦本會ノトキニ御質問ニ依ツテ御答ヘ致シマシタ通リニ職工ノ扶助ニ關スル事柄デゴザリマシテ、ドノ位ノ程度ニ定ムルカト云フコトニ付イテハ、今日鑛山ノ持主が坑夫ニ對シテ扶助ヲ給シテ居リマス、此規定ハ全ク其鑛業條例ニ書イテアル規定ト全然同一ノ規定付イテ、誘拐其他不正ノ争奪ガゴザリマス、又周旋業者ノ行届カヌガタメ、若クハ不正ナコトヲヤルタメ、工場モ迷惑ヲスル、職工モ甚シキ誤解ニ陥シテ、種々様々ノ苦難ヲ嘗メルト云フ事實ガゴザリマス爲ニ、是亦勅令ヲ以テ其取締ヲ決メル、ソレカラ徒弟ニ關シテモ亦唯今ノ所デハ殆ド徒弟ヲ教育スルト云フ目的デナクシテ、年季ノ職工ヲ買付テ來タ場合ニ、ソレヲ稱シテ徒弟ト云フ、即チ年季奉公ノ職工ヲ徒弟ト云フノ在來ノ情況デゴザリマシテ、眞正ノ徒弟トシテ眞正職工ヲ養成スルト云フ宜イ組織ヲ執ツテ居ル工場ハ、

極々宜イ工場ノ外、他ノ一般ノ工場ニハ徒弟ニ關スル制度が定マツテ居リマセヌノデゴザリマス、故ニ將來、良職工ヲ養成スルニハ、徒弟ノ教育ト云フコトハ餘ホド重キヲ置カソラヌ、ソレニ付イテハ今日ノ如キ状態デハ甚ダ遺憾ノ點ガ多ウゴザイマスカラ、之ニ關スル規定モ亦勅令テ決メル、即チ徒弟養成ノ眞目的ヲ達シヤウト云フ點カラ 第十七條が出來テ居ルノデゴザイマス、本法中ノ實體規定ト見ルベキモノハ先づ十七條が終リデゴザリマシテ、十八條以下ハ罰則ノ適用、其他工場管理人ニ關スル規定デゴザリマス、是等ノ規定ハ若シ御質問ガゴザリマスレバ、ソレニ依シテ御答ヘヲ致シマス

○鎌田榮吉君 第四條第五條ニアリマスガ、第四條ニ於テ先づ大體ニ於テ此夜業ト云フモノヲ禁ジタコトニナッテ、而シテソレノ取除ケ法ヲ第五條ニ於テ設ケテ、其取除ケノ又取除ケヲ但書テ以テ規定シタ、斯ウ云フコトニナッテ居リマスガ、然ルニ此取除ケノ取除ケ即チ但書ニ於テハ、十四歳未満ノ者及二十歳未満ノ女子ト、斯ウ云フコトニナッテ、其取除ケラレタ此夜業ヲ許シタ云フモノニハ、總ア此一項カラ三項マデ書イテアルモノヲ見ルト、一時ニ作業ヲ爲スヲ必要トルトカ、或ハ夜間ノ作業ヲ必要トル特種ノ事由アルモノトカ、連續作業ヲ必要トルモノトカ云フノデ、是等ノ外ニ實際夜業ヲスルモノハ、今日ノ情況デ見マスト必ズ一項カラ三項ノ何レカニ屬スルモノニ夜業ガ行ハレテ、此以外ニサウ電氣ヲ點ケタリ、瓦斯ヲ點ケテ夜仕事ヲスルト云フヤウナコトハ殆ド自家ヤウニ考ヘラレマスガ、若シサウデアルト、斯ノ如ク法文ヲ紛糾セシメナイデ……全體ニ於テ禁ジ、次ノ條ニ於テ取除イタモノヲ取除クト云フヤウナコトハ殆ド自家撞著デアブテ、一旦禁ジテ又ソレヲ元ヘ戻スト、斯ノ如クセズトモ、若シ夜業ヲ禁止スル精神ナラバ、第四條ダケデ私ハ宜シヤウニ思フ、而シテ何カ特殊ノ場合ニ於テハ、此法律ニ於テハ度々利用セラル、所ノ勅令トカ命令トカ色ニノモノガアルモノデスカラ……本則ハ法律ヲ以テ決メナケレバナラス、即チ是モノハ夜業ヲサセテハナラスト云フ精神ヲ貫徹サセテ、サウ煩ハシイコトヲヒストモ行ケルヤウニ思フンデスガ、其邊ニ付イテノ御説明ヲ伺ヒタ

○政府委員(岡實君) 御質問ノ趣意ハ、第五條ノ一、二、三ニ掲ゲテアル種類ノモノガ重モニ夜業ヲスルノデアシテ、其他ニ尙ホ夜業ヲ營ム工場ハ多クアルマイト云フコトニ考ヘルガ、ドウデアルカト云フ御質問ノヤウデゴザリマス、第五條ノ一、二、三ニ掲ゲテアリマスル工場ノ種類ハ先キホド申上ゲマシタ通リデゴザリマシテ、是ハ工業中ノ極ク小部分デゴザリマス、其他ノ工業デ十時ヲ過ギテ働く場合が相當多クアルノデゴザリマス、即チ此紡績等ヲ始メト致シマシテ、目下ノ我が國工業ノ大多數ヲ占メテ居リマスル所ノ織物工場ノ如キモ、盛ニ夜ハ火ヲ點ケタリ、十時ヲ過ギテモ止マナイト云フヤウナ情況ハ現在各地方ニ多クアルノデゴザリマス、又生絲工場ノ如キニ於テモ矢張り夜仕事ヲ致シテ居リマス、ソレニハ女子供ヲ使用シテ居ル、其他少シ忙シクナシテ來レバ女子供ヲマデモ女子供ヲ勤カセルト云フコトハ、忙シイ場合ニハ必ずドノ工場ニ於テモヤルノデゴザイマス、其他紡績業ノ如キ無論一乃至三ニハ當ラヌノデアリマス、即チ職工ヲ二組ニ分ケテ晝夜兼行テ仕事ヲヤフテ居ルノデアリマス

○鎌田榮吉君 私ハ紡績業ハ此中ニ這入テ居ルモノト實ハ解釋ヲ致シテ居リマシタ、

若シ這入テ居リマセヌケレバ、少シ考ヘガ達ヒマス、紡績業ノ如キ、例ヘバ其他蒸氣ヲ使シテ居リマスルモノドニ至ラハ、夜業ヲシナクテハナラヌ、即チ今御説ノ通り夜業ヲシテ居ルノデアリマスガ、例ヘバ蒸氣ヲ冷マシテハイケナイトカ、其他ノコトテ其他ノ事情デス……一度打消シテ又戻シテ居ルヤウニ考ヘル、ソレデ夜業ヲスル者タケハ晝夜連續作業ヲ必要トル特種ノ事由ハ必ズ紡績業ナドハ私ハ其内ニ這入テ居ルモノト見テ居ル、若シソレガ這入テ居ラスト見解ガ反対ニナッテ來ル

○政府委員(岡實君) 紡績業テ夜業ヲ致シマスルノハ御承知ノ通り日歩ハ掛ツテモ夜歩ハ掛ラスト云フコトヲ申シマス、詰マリ固定資本ガ非常ニ多イモノデアリマスカラ、其破損ガ早イトカ何トカ云フヤウナ形ニナル、其意味カラ申シマスルト詰マリドノ事業デモ少シク固定資本ノ多イモノニナッテ來ルト、夜ソレヲ利用スルコトガ經濟上利益デアル、從ツテ其經濟上ノ利益ヲ得ルコトガ特種ノ事由ト云フコトニ認メテ行ケバ御説ノ通リデアリマス、凡テ第三ニ入レルト云フ解釋モ立タウカト存ジマスガ、併シ原案ノ趣意ハ第二ノハ連續作業ヲ必ズヤラナクテハナラスト云フ、又ソレニノ制限ヲ付シテ特殊ノ事由ガ無クテハナラヌ、矢張リ固定資本ヲ使ツテ、ソレヨリ生ズル利益ヲ配當スルコトガ其業務ノ性質上有益デアルト云フコトハ其特種ノ事由ニハナラヌ、斯ウ云フ趣意デアリマス

○鎌田榮吉君 例ヘバ、ドンナモノデアリマスカ
○政府委員(岡實君) 御手許ヘ回シテ置キマシタ蒟蒻版ニアルト思ヒマスガ、重モニ竈ヲ使ツテヤル仕事デアリマス、例ヘバ製鐵所デ申シマスルト、熔鑄爐ノ如キハ終歲、火ヲ入レ切リデアリマス、硝子ノ如キモ御承知ノ通り原料ヲ熔カス、熔セバ火ヲ切ツテ仕舞フ譯ニハ參ラヌノデ連續シテ仕事ヲヤリ果タシテ仕舞ハナケレバナラスト云フ性質ヲ有ヌ、仕事ヲ少シモ止メテハナラヌ、謂ハユル窯業ニ是が多ウゴザイマス
○男爵山内萬壽治君 私ハ此全體ニ付イテ御質問イタス時機ニ伺フベキコトカモ知レマセヌガ、チヨコト参考ノ爲ニ伺ツテ置キタリ、此本法ハ農商務省御所管ノ製鐵所ノ如キニ於テハ、全然御同意ノコト、ハ存ジマスルガ、其通リデアリマスカ

○政府委員(岡實君) 其通リデゴザイマス

○男爵山内萬壽治君 此各條ニ散見シテ居リマスル職工ノ年齢ノ規定ニ付イテ同僚ノ年齢ヲ取調ヘテ之ニ相致シテ居リマス、ソレニハ女子供ヲ使用シテ居ル、其他少シ忙シクナシテ來レバ女子供ヲマデモ女子供ヲ勤カセルト云フコトハ、忙シイ場合ニハ必ずドノ工場ニ於テモヤルノデゴザイマス、其他紡績業ノ如キ無論一乃至三ニハ當ラヌノデアリマス、即チ職工ヲ二組ニ分ケテ晝夜兼行テ仕事ヲヤフテ居ルノデアリマス

工場主ハ職工ノ年齢ヲ知ラザル故ヲ以テ本法ノ處罰ヲ免レコトガ出來ナイト云フ規定ガ二十二條ニ有ルヤウデゴザイマス、サウスルト工場主ト云フモノハ職工ノ年齢ニ付イテハ餘ホド覺悟シテ居ラナイトナラナイ、此職工ノ年齢ヲ確實ニ知ルト云フコトモ、ナカムカシテアラウト思ヒマスルガ、職工其モノ、個々銘々ヲ認識スル、此人ハ何ノ何兵衛、是ハ此人ニ相違ナイト云フコトヲ確實ニ知ルト云フコトガ先ツ以テ私ドモノ實驗ニ依ルトムカシイ場合ガアル、況ヤ其年齢ヲ確メルコトハナカム、多クノ中テハ困難アル、絕對ニハ出來ナイコトデハアリマセスガ、中ニハ故意ニ紛ラカシテ這入ル者ガアル、職工ヲ雇入レマス場合ニハ固ヨリ品行方正ノ者、彼等社會ニハ動モズベ前科者モ這入ルテ參リマス、是等ヲ確實ニ調ヘマシテ、サウ云フコトノ無イヤウニスル爲ニハ戸籍謄本マテ取寄セサセテ、當該官吏ノ證明ヲ得テ、サウシテ雇入レルヤウナ手續マテモ致シマスルガ其手續ヲスルニモ拘ラズ、當該官吏ヲ瞞著シテ偽名其他ノ悪ルイコトヲシテ這入ル者ガ往キアリマス、私ドモノ實驗ニ依リマスルト、サウ云フコトガ往々發見サレルノテ、自然ニ分カル場合モアルシ、又怪我ヲシマス、重傷ヲヤリマス、或ハソレガ爲ニ死亡イタシマスサウスルト大騒動ニナシテ偽名ノ主ガ非常な迷惑ヲスルヤウナコトガアル、本人ハ死ンテ居ラナイデ偽名ノ人ガ死ンテ居タリ色ニナコトガアル、サウスルトアレハ全ク私デハアリマセヌト云ウテ死ンダ人が出テ來ア大ニ悶著ヲ起スコトガアル、ソレハ決シテ稀デナインデアリマス、ソレア仕方ガナイカラ戸籍謄本ニ寫真ヲ添ヘテ出サセルヤウニマダヤシテ居ル、サウスルト今度ハ其戸籍謄本ト寫真ト兩方持テ證明シテ貰シテ來ル職工ガ在籍スル、例ハ神戸ナラ神戸ニ在住シテ居ル職工ナラ其戸籍吏が戸籍謄本ト寫真ト本人ト三ツ比ベテ證明ガ出來ルケレドモ、其本籍ガ神戸ニアラシシテ……工場ノ存在シテ居ル所ノ神戸ニアラズシテ岡山ニアル、サウスルト戸籍謄本ハ岡山カラ來ル、寫真ヲ付ケテヤル、何モナラナイ、矢張リ嘘ツバチ、斯ウ云フヤウナ形迹ガ澤山アリマス、ソレテ年齢ヲ確實ニ知ルト云フコトノ困難ヨリモソレヨリモダ其當人ヲ何ノ某ト云フノガ果シテ是アルカト云フコトヲ證明スルト云フコトガ、ナカム、取締上困難アル、是ニハ何カ宜イ御工夫ガアリマスノアスカ、其邊ヲ伺ヒタノデアリマス

○政府委員(岡實君) 御尤モナ御質問ト思ヒマス、年齢ヲ知ルコトハ大工場ニアツテハ殊ニ困難アルコトハ政府モ常ニ認メテ居ルノデゴザイマス、ソレデ容易ク年齢ヲ職工ノ側カラモ亦工業主ノ側カラモ知ラシムル方法ニ付イテ考慮ヲ迴ラシタノデゴザイマスルが、其結果、第十六條ノ所ニ持ツテ行キマシテ職工徒弟……職工徒弟タラムトスル協議ヲ致シマシタ結果、大分此點ニ付イテハ故障モアタノデゴザイマシタケレドモ、今男爵ノ御話ノ如ク此方法ヲ極メテ簡易ナラシメザル以上ハ、餘ホド本法ノ適用上年齢者及工業主又ハ其後見人又ハ工場管理人ト云フヤウナ工場關係者カラ職工徒弟ノ年齢ニ關シテ證明ヲ請求スルトキニハ無償テ證明ヲ交付シテ貰ヒタイト云フコトヲ司法省協議ヲ致シマシタ結果、結局此點ニ付イテハ司法當局者ノ同意ヲ得タヤウナ譯デアッタノデゴザイマス、ソレデ是ダケノ途ヲ開イテモ尙本年齢ニ付イテハ分ラヌ場合ガアルト云フコトモ亦考ヘタノデゴザイマシテ、今男爵ノ御話ノ如ク隨分職工ノ内ニハ年齢ノミナラズニ付イテハ工場主ノ責任ヲ非常ニ重ク看做シテ仕舞シテ甚ダ遺憾ナルコトが起ルコトヲ豫見イタシマシタガ爲ニ、結局此點ニ付イテハ司法當局者ノ同意ヲ得タヤウナ譯デアッタノデゴザイマス、ソレデ是ダケノ途ヲ開イテモ尙本年齢ニ付イテハ分ラヌ場合ガアルト云フコトモ亦考ヘタノデゴザイマシテ、今男爵ノ御話ノ如ク隨分職工ノ内ニハ年齢ノミナラズニ付イテモ専著ヲシテ來ルト云フ場合ハ少ナクナイノデゴザイマスカラ、年

齡ニ付イテ第二十二條ノ第二項ノ所ヘ持ツテ參リマシテ但書ヲ設ケマシテ「工業主又ハ第十九條ニ依リ工業主ニ代ル者ト申シマスルト、詰リ工場管理人ノコトヲ申スノデゴザイマス、即チ工業主ト同様、ソレニ身代リニナシテ工場法ノ責任ヲ有シテ居ルモノガ年齢ニ付イテ相當ノ注意ヲ拂ツタ云フコトヲ證明スル以上ハ處罰ヲシナイト云フ規定ヲ設ケタノデゴザイマス、ソレカラ其前ノ方ヘ持ツテ參リマシテ、是ハ衆議院ノ修正デゴザイマスルガ、又但書ガ這入リマシタ、工場ノ管理ニ付テ相當ノ注意ヲシタ場合ニハ命令違反ノ點ニ付イテモ處罰ヲシナイト云フコトヲ是ニ書入レタノデゴザイマス、是ダケノ特典ヲ與ヘ且ツ責任上ニ付イテモ斟酌ヲ致シテゴザイマスルカラシテ、全ク疎虞懈怠ガ無イト云フ場合ニハ雇入レ又ソレヲ使用シタ場合ハ罰セラレマスルガ、苟モ疎虞懈怠ガ無イテ云フ場合ニハ今御話ノ如キ場合ニ付イテハ法律ノ制裁ヲ被ムル範圍ニアラズト云フ結果ニナルノデゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○男爵山内萬壽治君 成ルホド段々伺ヒマスレバ其通リニナシテ居ルヤウデアリマスルガ私ハ尙ホ一步進シテ、此戸籍吏デアリマスルガ、是ガ少シク是等ノ注意ヲ餘計ニ拂ヒサセテ戴キタイト思フ、ソレハ中ニハ隨分熱心ニ調ベテ嘘デナイ愈々眞實アルト云フコトヲ確メテ吳レル向キモアリマスルガ、ナカム、多クノ中ニナリマスルト、其戸籍吏其者ガ唯謄本ヲ請求シテ來レバ、別段其本人ト寫真ト添ヘテ出シテモ唯普通ノ責任證明デ、ロクロク見極メモセズニヤシテ仕舞フト云フモノガ無キシモアラズ、隨分、使フヤシテモジンデ仕舞フコトガアル、是等ハ一方バカリ喧マシイコトヲ言ハナイデ、戸籍吏ノ方ニモ責任ヲ帶ビテ證明スルヤウニ、何トカ御工夫ハナイモノデゴザイマスカ、此無償テ證明ヲシテ吳レルト云フ位デハ是ハ實ハ瑣々タルコトデアツテ、工場主ハ無論、雇入レル職工ニ對シテ戸籍謄本ヲ持ツテ來イテ命ズルノデアル……這入ラウト思フ職工自身ハ戸籍謄本ヲ自分持ツテ來ルト云フノハ普通デゴザイマス、ソレデスカラ是ハ自然、工場主ニ對シテハ無償ナンシス、マア免除ケノ斯ウ云フ場合ニハ處罰ハ當ラナイト云フ箇條モ大分見エマスカラ、多少工場主ノ方デモ餘裕ハ有ルヤウデスガ、同時ニ戸籍吏ノ方ニ對シテ大ナル制裁ヲ御加ヘニナラナケレバ效能ハ無イカト思ヒマスガ、ドウ云フモノデゴザイマス

○政府委員(岡實君) 第十六條ニ於キマシテ現ニ職工タルモノノ外、他日職工トナラウト云フモノモ無償證明ノ特權ガ與ヘテゴザイマスル爲ニ、或ル者ガ戸籍吏ノ證明ヲ請求シタ場合ニ、其者ハ何人デアルモ、又如何ナル目的ヲ以テ其請求ヲ爲スモノデアルカ、果シテ眞ニ職工タルムトスル希望ヲ有シテ居ルモノナルヤ否ヤ、其事ソレ自身ガ虚偽デハナイカト云フヤウナ點ニ付イテハ、戸籍吏が又十分審査ヲ致サナケレバナラヌコトデゴザイマスカラ、本案實施後ニ至リマシタナラバ、戸籍吏が真正ニ證明ヲ爲スヤウニ十分ノ注意、訓令ヲ與ヘマスノミナラズ、又本條ノ適用ヲ濫用シテ、違ツタ者ヲ出シテ、斯ル證明ヲ請求スルガ如キコト無カラシムル爲ニ、ソレドヽ規律ヲ立テナケレバナラヌコト、存シテ居リマスルカラ、今ノ男爵ノ御話ノ如キ點ハ、ソレハ規定ノ運用ニ依ツテ達セラルモノト考ヘテ居ルノデアリマス

○男爵山内萬壽治君 次ニ伺ヒタイト存シマスルノハ、第十條ハ十五歳未満ノ者ハ色ニ此衛生上ニ害ガアル所ヤ、危險ナ所等ニ使用サレナイト云フ條ト思ヒマスガ、此十其人ソノモノニ付イテモ亦瞞著ヲシテ來ルト云フ場合ハ少ナクナイノデゴザイマスカラ、造船所ノ如

キニ御出デニナルト往々御覽……御目ニ觸レルグラウト思ヒマス、罐掃除ニ使フ小僧、是ハドウモソレ大人ニハ大キナ身體デハドウシテモ這入レナイ所ヘ撰リ撰ツテ小サイ子供ヲ使ヒマス、古罐ヲ掃除スルトカ、或ハ使用スルト云フ場合ニハ、是ハドウシテモ此罐ヲ毀ハシテ這入ラナケレバ大キナ人ニハ這入レナイ、十五歳ドコロダヤナイ十五歳未滿ノ人間ヲ或ル場合ニハ使ハナケレバナラヌ、鼠ノヤウナ者ヲ押込シテ掃除ヲサセナケレバナラヌ、是ハモウ實業者ハ皆御存シテアリマスガ、サウ云フ事ヲヤツテ居ルコトアル、是マテケレドモ、是ヲ入レナケレバ、ドウシテモ此工事ハ出來ナイ、采配ノ先キヤ第ノ先キデアノ曲リクネタ罐ノ中ハ……是ハドウシタラ此事ヲ厲行スルコトガ出來マセウカ、殆ド之ニ對シテ若シ私ニ罐掃除ヲ命ぜラレテ此仕事ヲシナケレバナラヌト云フ場合ニハ、甚ダドウモ困却スル次第アリマスガ、此邊ハ如何デゴザイマセウカ

○政府委員(岡實君) 今御話ノ點、及此造船所アタリノ「スペット、ボイ」是等ニ付イテハ唯今考慮フ運ラシテ居ルノデゴザイマス、外國ノ立法例等ニ於アモ相當寛大ナル扱ヒフシテ居ルコトヲ見マスノア、第十一條ノ業務ノ範圍ヲ定ムルコトニ斟酌ヲ加ヘル腹案デゴザイマス

○男爵山内萬壽治君 ハア左様デゴザイマスカ、十一條ノ範圍ハ豫メ斯ウ御示シニナルヤウナモノハゴザイマセヌカ

○政府委員(岡實君) 御手許ニ回シマシタル工場法案説明ト云フ冊子、活版物ガゴザイマス、是ノ二十六頁……

○鎌田榮吉君 本員ノ伺ヒタノハ此工場法ニハ工場ト云フモノ、別ニ定義ガアリマセス故ニ「本法ハ左ノ各號ノ一二該當スル工場ニ之ヲ適用ス」斯ワアツテ「當時十人以上ノ職工ヲ使用スルモノ」是ハ先づ規模ノ方カラ來タモノデ「事業ノ性質危険ナルモノ又ハ衛生上有害ノ虞アルモノ」ト云フモノハ性質カラ來タモノデアリマスガ、此工場ト云フモノハ一人働く工場ト云フモノカ、何カ其定義ガアリマセヌモノデスカ、事業ノ性質ノ危険ナルモノナラバ、十二歳未滿ノ子供ハ一切携ハルコトニナラヌト云フト、例ヘヤ親父ト子供ト二人デ働く工場ト云フコトニナルノデアリ

○政府委員(岡實君) 此家族同士デゴザイマス、是ガ職工アルカ、親父ガ何所カ或ル危険ノ業ヲ營ンテ居ル、一人ナリ二八ナリ子供ガ幾ラカ手傳ヲスル、尤モ其事が直接危険デナクテモ、危険ノ虞アル所ニ子供ヲ使ツテ居ル場合ハ、矢張リ此法律ヲ持ツテ行ツテ其家ノ中ニ適用スルト云フコトニナルノデアリ

○政府委員(岡實君) 此家族同士デゴザイマス、是ガ職工アルカ、カドウカト云フ問題ニ歸スル、例ヘヤ兄貴ノ工場ニ弟が這入ル、親父ノ工場ニ子供が這入ツテ居ルト云フ場合ニ其子供若クハ弟ヲ職工ト見ルベキヤ否ヤ、是ハ通常サウ云フ場合ニ雇傭關係ハアリマセヌ、通常雇ハレ人ト云フ關係ハ無イ場合ガ多イノアス、例ヘヤ少金ヲ貰フニシテモ賃銀トシテ貰フノデナクシテ、マア兄カラ月末ニ幾ラカ貰フ位ノコトテ濟シテ居ル場合モアリマス、サウ云フ場合ハ職工トハ見ヌ積リテアリマス

○鎌田榮吉君 成ルホドサウ云フ場合ニハ、タゞノ利害關係バカリデナク、兩方ノ情誼ト云フモノモアリマスカラ、宜シト致シタ所デ、隨分他人ノ子供ヲ雇ツテ極小仕掛ケニヤツテ居ルト云フコトガ一般ニアルト申シテモ宜シノデアリマスカ、ソレヲ工場ト言ヘバ、先づ十人以上ノモノヲ工場ト認ムルコトニナレバ十人以上ニシテ尙ホ危險ノモノハ云々ト云フコトニナツテ來ルノデ、工場ト云フコトノ規模ガ定マッテ居ラナイト、十人以下ノモノニ皆適用シナケレバナラヌコトニナツテ來ル、ドンナモノヲ工場ト云フカ、普通常識ノ上ニ於テハ何カ蒸氣デモ焚イテ居ルトカ、機デモ、チヤン、織ジテ居レバ工場ト云フシカ、ドノ邊マデソレヲ適用スルカト云フコトガ決マツテ居ナイト、少シク全體ノコトニ困ルト思ヒマス

○政府委員(岡實君) 此本案ニハ職工ト云フ文字ヲ使ツテアリマシテ、十五人以上ノ職工トカ或ハ其他ノ制限モ總テ職工ト云フ者ニ當嵌メテアルノデアリマスカラ、極端ノ場合ヲ言ヘバ工場トシテ或ル物ノ製造加工ヲヤツテ居ルトシテモ、ソレガ親子トカ或ハ兄弟デヤツテ居ル場合ニハ、本案ノ適用ハ自然受ケナイコトニナルノデス、是ハ消極的ニ……

○伯爵德川達孝君 私モ鎌田君ト同様ナコトヲ御尋ネ致シタイノデアリマス、甚ダ工場法案ノコトハ私ハ迂遠デゴザイマシテ能クハ存シマセヌケレドモ、此法案ヲ見ルト、コチラニアル参考ノ外國工場ノ法規ニハサウデハアリマセヌガ、總テ日本ノ色ニノ法律ニハ初メニ定義ガ書イテアル、何ダカ是ハ家ヲ建テ、屋根ヲ毀ハシタ云フ次第ニアツテ餘ホド體裁ガ妙デアルカラ、サウ云フコトヲ御尋ネシタイノハ、或ハ此工場法ナクシテ、建築條例ノ範圍ニ屬シテ居ルカモ知レマセヌガ、現在日本アハドウナツテ居リマスカ、人家稠密ノ所ニモ工場ガ澤山アル、ソレハ已ム得ヌコトデアル、斯ウ云フ工場ハ構ハナイ、或ル危險ノ工場ハ市街地ニハ建テ、ハナラヌトカ云フヤウナ法律カ或ハ勅令ガ得出テ居ルノデアリマセウカ、其點ヲ一ツ伺ヒタ

○政府委員(岡實君) 唯今ノ所デハ工場主トマダナラヌモノ、即チ他日工業ヲ營ママセウカ、親父ガ何所カ或ル危険ノ業ヲ營ンテ居ル、一人ナリ二八ナリ子供ガ幾ラカ手傳ヲスル、尤モ其事が直接危険デナクテモ、危険ノ虞アル所ニ子供ヲ使ツテ居ル場合ハ、矢張リ此法律ヲ持ツテ行ツテ其家ノ中ニ適用スルト云フコトニナルノデアリマスカ、親父ト子供ト二人デ働く工場ト云フコトニナルノデアリ

○政府委員(岡實君) 唯今ノ所デハ工場主トマダナラヌモノ、即チ他日工業ヲ營マムガ爲ニ、即チ他日工場主トナラムガ爲ニ工場ヲ建設スルヤウナモノハ、ソレノ其地方長官ニ願出デマシテ、其地方長官ニ許可ヲ與ヘラレル、サウシテ其工場ヲ建設スルコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレモ矢張リ御手許ヘ御回シシタ皆ゴザイマスガ、工場及職工ニ關スル廳府縣令ト云フ冊子ヲ差上ケマシタ皆デアリマス、其廳府縣令ノ中ニハ今御尋ネノ如キ規定モソリレド、地方長官限リテ公佈イタシマシテ、危険若クハ衛生上有害ト認ムベキ工場ノ如キハ總テ此地方長官ガ指圖ヲスルト云フコトニナツテ居リマス、本法施行後モ其狀態ハ全ク變更シナイ積リテゴザイマス、而シテ既ニ工場トナツタ分ニ付イテ操業ノ性質ガ危害ヲ生シタ、或ハ衛生其他公益ヲ害スルト認メタ場合ニハ此十三條ノ規定ニ從ヒマシテ豫防除害ノ工事ヲ爲サシムル、若シ必要ト認ムルトキニハ工業ノ全部若クハ一部ヲ停止スル途ヲ設ケテアルノデアリマス

○伯爵德川達孝君 唯今ノ御答辯テ稍、分リマシタガ、サウシマスト別ニ此法律デナクシテ、此工場及職工ニ關スル廳府縣令ト云フモノハ、是ハ昨日戴イタノデ、マダ十分ニ熟讀スル暇ガアリマセバ、此中ニ書イテアルノデアルカラ、別ニ勅令モ何モ出テ居ラヌト云フコトデアリマスカ、其邊ヲ伺ヒマス

○政府委員(岡實君) 其通リデアリマス

○伯爵德川達孝君 モウ一ツ伺ヒタイノハ、是ハ此工場ニ付イテ最モ喧マシイ問題デアツテ、勞働者ト資本主ノ間ノ貸銀ノコトデアリマスガ、是ハナカノク、社會政策上ノ喧マシイ大問題デアリマスガ、現狀ヲチヨット參考ニ伺ヒタイノハ、隨分或ル工場ニ依ツテハ職工トシテ這入ツテ居ツテ、サウシテ甲ノ工場ノ者ヲ乙ノ工場ニ誘ヒ出ス、即チ甲ノ工場ヨリハ乙ノ工場ノ方が賃銀が高イカラト言シテ隨分誘ヒ出スト云フコトノ弊害カ有ルヤウニ承ツテ居リマスガ、現今モサウ云フコトが頻繁ニアリマスカ、或ハサウ云フコトハ餘り無イカ、ドウ云フ有様ダカ、現況ヲ一ツ伺ヒタイ

○政府委員(岡實君) 此職工ヲ一ツノ工場カラ他ノ工場ニ移スガ爲ニ周旋業者ガ種々惡手段ヲ施ス、又周旋業者ニアラズシテサウ云フコトヲ専門ニヤツテ居ル惡漢モゴザイマス、又職工中ニサウ云フ事バカリヲヤツテ上ハ前ヲ刻ネルコトヲ主トシテヤツテ居ルノモ少ナクナイノデアリマス、サウ云フ者ハ何レモ此職工ノ誘拐トカ或ハ争奪、不正周旋ト云フヤウナ事柄ノ範圍ニ屬スルノデゴザイマス、ソレ等ノ事柄ハ最モ此工業主が困ル、又同時モ誘拐サレル方ノ職工ニ取ツテモ必シモ種々利益バカリハ無イノデ、却ツテ喰物ニナルト云フ場合ガ多イノデゴザイマス、是等ニ付イテハ既ニ各府縣ニ著シク弊害ヲ認メタ所デハ相當取締ヲヤツテ居リマス、即チ其差上ゲマシタ冊子ノ終ノ方ニ重モナル例ヲ掲ゲテ置キマシタ皆デゴザイマス、併ナガラ一府縣ダケノ仕事デハ他府縣ト關係ヲ有ツテ來タ場合ニ十分ニ其活動ガ出來ナイノデアリマス、ドウシテモ此原則法ヲ府縣令以上ノモノデ決メテ置イテ、各府縣ノ事情ニ依ツテ更ニ細カイモノヲ決メルト云フヤウナ立テ方ニ致シマセヌ、御話ノ如キ場合ノ取締ガ十分デゴザイマセヌ爲ニ、今回ハ十七條ノ規定デ委任勅令ヲ發スル積リデゴザイマス

○伯爵德川達孝君 尚ホ伺ヒマスガ、サウ致シマスルト唯今ノヤウナコトハ現今モ隨分頻繁ニアルダラウト思ヒマス、併シ又男女職工ニ付イテノ風紀ノコトニ付イテノ規定モゴザイマスガ、隨分、或ル工場ニ依ツテハ宗教家トカ教育家ヲ呼シテ極通俗的ニ話ヲ……勿論、學校ノヤウナ設備ハ無イデセウガ、ヤラセルト云フヤウナコトニナツテ居ル、詰リ今ノヤウナコトヲ防ギ且又墮落スルト云フヤウナ者ハ重モニサウ云フヤウナ所カラ起ルダラウト思ヒマスカラ、サウ云フ所マテ法律トシテ干涉ベキコトハアリマスマイガ、サウ云フコトヲ先づ取締規則トカ何トカ云フモノニ規定シテアリマセウカ、或ハサウ云フコトハ工場主ノ隨意ニヤラセルト云フモノデゴザイマセウカ、甚ダ迂遠デゴザイマスガ、ドウ云フコトカ、伺ジテ置キタウゴザイマス

○政府委員(岡實君) 工場法制定ニ當リマシテハ、尙ホ本案規定以外ニ於テ色ニ必

要ナ事項モゴザイマス、又必要トセズトモ職工、工場主ニ取ツテ共ニ有益ナリト認ムル事柄モ多タルノデゴザイマスガ、先づ第一期ノ工場法ト致シマシテハ、何人ガ見テモ甚ダ不都合ガ無イト認ムル限度ノ取締ヲ設ケルト云フ點ニ止メマシタ、今御話ノ如キ職工ノ慰安トモデモ申シマスカ、或ハ教化トモ申シマスカ、サウ云フ事柄ニ付イテハ、行政上ノ手段デ、或ハ地方長官ヲシテ、成ルベクサウ云フ設備ヲ設ケルヤウニ勸誘ヲ爲サシメ、又サウ云フ設備ヲ設ケテ居ル工場ハ、之ヲ模範工場トシテ、例ヲ其他ノ工場ニ示スト云フヤウナ處置ヲ執ツテ參ル積リデゴザイマス、法律文ニハ右ノヤウナコトハ書イテゴザイマセヌ

○伯爵德川達孝君 尚ホ御尋ネスルコトモアリマスケレドモ他日ニ致シマス○鎌田榮吉君 私ハ尙ホ此第一條ノコトデ伺ヒタイノハ、唯今ノ御説明ニ依ツテ、家族工業ニハ適用シナイト云フコトデアリマスガ、ドウモ當時十人以上ノ職工ヲ使用スルモノト云フノハ、先づ家族工業デナイモノト云フコトダラウト思フ、多數ノ人ヲ使フ所、即ち之ヲ工場ト稱スルト云フ、然ラバ事業ノ性質危険ナルモノ又ハ衛生上有害ノ虞アルモノト云フコトハ、十人以下ノ所ニシテカ當ラヌ、十人以上ノモノナラバ、其危險ナルト否トニ論ナク、總テノモノニ適用セラル、ノテアリマスカラシテ、ドウシテモ第二項ト云フモノノト云フノハ、先づ家族工業デナイモノト云フコトダラウト思フ、若シ極端ニ言ヘバ其家ニ家族ガ四人アツテ、アトニ一人ヲ雇ウテ六人ニシテ居ルト云フヤウナモノモ、尙ホ之ヲ家族工業ト見テ仕舞フト、殆ド第二項ノ勤ク所ハ無イヤウニ思フ、以前ノ昨年御出シニナツタハ十人以下ノ所、十人以下ノモノト雖モ事業ノ性質危険ナルモノトシカ讀メナシ、サウシマスルト家内工業ト云フモノハ十人以下ノモノニ多イ、衆議院ノ訂正ノ如ク五人以上トスレバ第二項ノ適用スベキ所ハ無クナルカト思フデスガ、若シ極端ニ言ヘバ其家ニ家族ガ四人アツテ、アトニ一人ヲ雇ウテ六人ニシテ居ルト云フヤウナモノモ、尙ホ之ヲ家族工業ト見テ仕舞フト、殆ド第二項ノ勤ク所ハ無イヤウニ思フ、以前ノ昨年御出シニナツタハ十人以下ノ所、十人以下ノモノト雖モ事業ノ性質危険ナルモノ、十人以上ノ職工ヲ用井ルモノトスウナツテ居ルカラ、原動力ト云フコトガ脱ケタノデアリマシテ、是ハタイシタ違ヒハ無イヤウデアリマスガ、何カ少シク無益ナコトヲ書イテ居ルヤウニ思フ、或ハ無益ナルノミナラズ之ヲ書イテ置クト、下級ノ行政官ハ非常ナ杓子定規デアシテ困ル、其杓子定規流ノ役人ガ之ヲ適用スルニ當ツテ、此法又ヲ相當ニ解シテ行クト、事業ノ性質危険ナルモノト云フノハ重モニ十人以下ノモノニ向シテ勤カセルヤウニナツテ行ク、是が家族工業アルカ、是が工場アルカト云フコトノ分解ハ、マルテ立タナインデアリマスカラ、餘ホド是ハヲカシナモノト思フ念ガ矢張リアリマスノデスガ、如何ナモノデアリマセウカ、此「本法」適用ヲ必要トセサル工場ハ勅令ヲ以テ之ヲ除外スルコトヲ得」ト云フノデ以テ、何レ是八十人以上ノモノ、又ハ性質危険ナモノデモ或ハ之ヲ除外スルコトモアルト云フコトニモ讀メルノデスガ、此邊ノ所ハ私ハドウシテモ是ガ根據ニナルベキモノデアリナガラ性質ガ判然シナシ、是が判然シナシ以上ハ他ノ數十箇條ト云フモノハ殆ド無意味ニナツテ仕舞フカト思ハレル

○政府委員(岡實君) 唯今ノ御説デハ十人ガ五人ニ變ツタト云フヤウナコトヲ前提トナスツテノ御質問ノヤウシタガ、衆議院デハ十人トアルノヲ更ニ致シマシタ

○ 錦田榮吉君 ア、左様デスカ

○ 政府委員(岡實君) ッレデ十五人ト云フ標準ヲ採リマスルト、十五人以下ノ工場ニハ工場法ガ原則トシテ適用ガナイコトニナルノアリマス、併シ十五人以下ト雖モ事業ノ性質危険アルカ、或ハ衛生上有害ト認ムモノニ對シテハ工場法ヲ適用スルト云フノデゴザイマス

○ 委員長(子爵三島彌太郎君) 今日ハ是デ閉會ヲ致シマス、明日ハ議事散會後二開キマス

午後零時十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵三島彌太郎君

委員

伯爵徳川

達孝君

子爵入江

爲守君

淺田

徳則君

前田

正名君

男爵久保田

讓君

男爵沖

守固君

男爵山内

萬壽治君

男爵青山

元君

男爵中島

久万吉君

男爵楠本

正敏君

高木

豊三君

錦田

榮吉君

桑田 熊藏君

國務大臣

農商務大臣 男爵大浦 兼武君

政府委員

農商務次官 押川 則吉君

農商務省工務局長 岡 實君

明治四十四年三月八日印刷

明治四十四年三月九日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局